



日本共产党岩手県議会議員

こんにちは！千田みつ子です

2019年1月

発行：千田美津子事務所

水沢区字久田62

電話：24-2021

医師確保 千田県議と奥州市議団が関係機関に要請活動

国の責任で産婦人科などの医師確保を



政府交渉には、紙智子参議院議員（1列目右から3人目）も同席していただきました。

野原県医療政策室長は、「この間、県としても小児医療の充実に取り組んでいるが、今すぐ配置するとは言えず、中長期的な対策となるざるを得ない」との見解を示しました。



医大等からの支援はすぐには難しい

11月28日、千田美津子県議と日本共产党奥州市議団は、岩手県の野原医療政策室長等と面談し、喫緊の課題である胆沢病院への小児科医師の体制を充実するよう要請しました。



岩手県の野原医療政策室長等と懇談する千田県議と市議団（向こう側）



勝又胆沢病院長と懇談する千田県議と及川善男市議

11月22日、千田美津子県議は、及川善男市議とともに、勝又胆沢病院長を訪ね、小児科医療の現状と今後の対応について、懇談しました。

勝又院長は、「医師会長と一緒に岩手医大に小児科医師派遣の要請に行つたこと。この地域出身の医師がいないか、日々名簿を見ながら思案している」と話してくれました。

議員団からは、「10月に日本共产党議員団として政府交渉を行い、特に医師確保については、国の支援を強くお願いしてきたが、担当者の答えは、県と協議をして欲しいという冷たいものでありがつかりした。今後は、関係者みんなで知恵を出し合い、医師確保のため、頑張りたい」と話し、引き続きのご奮闘とご協力を願いして来ました。

12月10日には、奥州保健所の杉江所長を訪ね、小児科問題等で懇談、要請を行いました。杉江所長は、「小児科問題は、産婦人科医師不足が深刻になる前から、医師会などから要望を受けていた。」「周産期医療についての地域連携会議はこの間、二度開催し、対応を協議してきたが、小児科はこれからになる。」等と述べました。議員団は、「水沢病院は小児科のみならず内科医も一人に減る予定で、存続すら危機的だ。一層の支援をお願いしたい」とさらなる支援を要望しました。



奥州保健所の杉江所長等と懇談する千田県議（奥）と奥州市議団

安心して子どもを産み育てられる地域に：今年も全力でがんばります

